

外国雑誌センター館のこれまでの活動と今後の課題

平成 24 年 10 月 16 日

外国雑誌センター館

外国雑誌センター館は、平成 24 年 5 月 17 日の外国雑誌センター館会議において「外国雑誌センター館のこれまでの活動と今後の課題」を取りまとめました。

概要：

外国雑誌センター館（以下「センター館」という。）は、我が国における外国雑誌等の収集・提供の分野別拠点として、現在以下の 4 分野 9 館が活動している。

●医学・生物学系

- ・東北大学附属図書館医学分館
- ・大阪大学附属図書館生命科学図書館
- ・九州大学附属図書館医学図書館

●理工学系

- ・東京工業大学附属図書館
- ・京都大学附属図書館

●農学系

- ・東京大学農学生命科学図書館
- ・鹿児島大学附属図書館

●人文・社会科学系

- ・一橋大学附属図書館
- ・神戸大学社会科学系図書館

発足当初から、国内で欠落している外国雑誌の体系的・網羅的な収集・提供を図ることを原則としてきた。また、平成 13(2001)年 7 月には『外国雑誌センター館運営基本方針』及び『外国雑誌センター館資料収集方針』を策定し、国内所蔵が 3 館以内のいわゆるレア・ジャーナルを収集対象とする方針を明確に打ち出し、現在に至っている。

一方、近年の電子ジャーナルの普及と包括契約方式（ビッグディール）により、学術情報の収集及び提供方法が大きく変化し、飛躍的に学術雑誌の利用環境は向上した。しかし、電子ジャーナルの契約価格高騰を背景にした学術情報流通基盤の崩壊も懸念され、センター館も運営・収集方針の見直しを図ってきたところである。

そこで、これまでのセンター館の活動とその成果を総括し、今後の活動の方向性を示すための基礎資料として、本報告を作成した。

お問い合わせ先：

東京大学農学生命科学図書館（外国雑誌センター館連絡担当館）

担 当： 雑誌情報担当 専門職員（外国雑誌センター館担当）

電話番号： 03-5841-5432

E m a i l： serials@lib.a.u-tokyo.ac.jp